

自立活動だより

3立ろう第447号 令和3年5月28日(金)
東京都立立川ろう学校長 村野 一臣
(担当:自立活動推進担当者会)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、引き続き、マスクをつけることをお願いしています。顔に熱がこもりやすくなり、汗をかくこともあります。汗や湿気は、補聴器の異音や電池ケースのサビなど補聴器が故障する原因になります。適切に補聴器の管理をしていきましょう。



何か気になることがあれば、担任や自立活動担当者までお問い合わせください！
日々の管理で故障を防ぎましょう！

汗カバーをつけましょう



汗カバーを使用することで汗や湿気から補聴器を守ります。最近、速乾性の素材で作られたカバーもあり、この時期の装用が快適になります。色が豊富なので、自分の好きなものを選んで使ってはいかがでしょうか。

チューブやイヤモールドの湿気をとりましょう



チューブやイヤモールド内の汗や水滴を「こより」やエアブローで取りましょう。

寝るときは乾燥剤の入ったケースに入れましょう



寝るときは乾燥剤入りのケースに入れましょう。その時に電池は必ず取り外してケースに入れないようにしましょう（空気電池は乾燥ケースに入ると放電が進みます）。シリカゲルがまだ使えるかどうか、こまめに確認しましょう。



青い粒
→使えます



ピンクの粒
→交換してください

新型コロナウイルス感染症に関わる相談について

東京都保健福祉局のホームページ (<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/coronasodanfax.html>) に「聴覚に障害のある方等、電話での相談が難しい方向け」の相談窓口の案内が出ています。新型コロナウイルスに関わる相談は症状が出た場合ファクシミリ（03-5388-1396）で受付ています。ホームページには相談票も準備されています。また、心配なことがあるときはLINE（「新型コロナ相談@東京」）での相談も行っています。

厚生労働省は聴覚障害者のためのファクシミリ（03-3581-6251）、相談用のメールアドレス（corona-2020@mhlw.go.jp）が準備されています。

感染しないことが第一ですが、万が一の場合の連絡方法を確認しておきましょう。



きこえとことばの教育的支援

自立活動推進担当者会では、外部のきこえにくさのあるお子さんや本校から外部の学校に進学・転校されたお子さんなどに、きこえの相談や聴力測定、補聴器の調整等を行っています。

例年長期休業中に行っていましたが、昨年度は本校の工事の関係、新型コロナウイルス感染症の対応に伴って夏季休業中の実施ではなく、巡回訪問や通常授業日の放課後に来校いただき支援を行いました。（昨年度の支援・相談件数は、15件ありました。）

今年度も本校以外のお子さまできこえのこと等で御相談がある方を対象に、通常授業日の放課後を基本に支援を行っていく予定です。きこえとことばの教育的支援への御相談がある方は、担当（高橋・内田）まで御連絡ください。

＜イヤモールドの洗い方＞

